

・・・ 新刊本紹介 ・・・

本の名前	書いた人	出版者
日本史”悪役”100人		世界文化社
職業は武装解除	瀬谷ルミ子	朝日新聞出版
セカンドライフのための住み替えQ&A	袖井孝子	ミネルヴァ書房
おばあさんの魂	酒井順子	幻冬舎
暴力団	溝口敦	新潮社
仕事を続けたい人のがんばりすぎない介護		日本実業出版社
スエズ運河を消せ トリックで戦った男たち	デヴィッド・フィッシャー	柏書房
胃ろうよさようなら	竹内孝仁	筒井書房
甲状腺の病気の最新治療	伊藤公一	主婦の友社
脳過敏症候群 しつこい耳鳴り・めまい	清水俊彦	毎日新聞社
妊娠中の食事と栄養	浦野晴美 牧野直子	学研パブリッシング
最高の間取りがわかる本		エクスタレッジ
無料で使えるネット電話Skypeスタートブック	大河原浩一	秀和システム
農業・化学肥料に頼らないおいしい野菜作りの裏ワザ	木島利男	家の光協会
素敵な四季の絵だより	田中ゆみ	木耳社
それでも笑みを	大石芳野	清流出版
シニアが楽しむちょっとしたりハビリのための手あそび・指遊び	今井弘雄	黎明書房
基礎から始める海釣り仕掛けハンドブック	「つり情報」編集部	日東書院本社
百歳	柴田トヨ	飛鳥新社
困ってる人	大野更紗	ポプラ社
太宰治の愛と文学をたずねて	松本侑子	潮出版社
14歳のアウシュヴィッツ	アナ・ノヴァク	白水社
くちぬい	坂東真砂子	集英社
ランウェイ	幸田真音	集英社
金平糖の降るところ	江國香織	小学館
虚像(上)(下)	高杉良	新潮社
カンタ	石田衣良	文藝春秋
こいわすれ	島中恵	文藝春秋
ハードラック	薬丸岳	徳間書店
猫は忘れない	東直己	早川書房
伊賀忍び控え帖	津本陽	PHP研究所
境遇	湊かなえ	双葉社
ハロワ!	久保寺健彦	集英社
不愉快な本の続編	系山秋子	新潮社
人生教習所	垣根涼介	中央公論新社
獅子頭(シーズトオ)	楊逸	朝日新聞新社
指名手配 特別捜査官七倉愛子	新津きよみ	角川春樹事務所
少女不十分	西尾維新	講談社
王国	中村文則	河出書房新社
すべて真夜中の恋人たち	川上未映子	講談社
草原の風(上)	宮城谷昌光	中央公論新社
そらを見てください	椎名誠	文藝春秋
プリズム	百田尚樹	幻冬舎
四十八人目の忠臣	諸田玲子	毎日新聞社
転迷 隠蔽捜査4	今野敏	新潮社
無冠の父	阿久悠	岩波書店
悪道 西国謀反	森村誠一	講談社
コーヒーもう一杯	平安寿子	新潮社
異国のおじさんを伴う	森絵都	文藝春秋
サウンド・オブ・サイレンス	五十嵐貴久	文藝春秋
霧の城	岩井三四二	実業之日本社
用心棒血戦記	鳥羽亮	徳間書店

紹介しているのは10月に入った新刊の一部です。他にもいろいろ入っているのでチェックしてみてください。  
図書館にない本が読みたいときには、リクエストをしてください。

# 読まなかね

2011. 11 Vol. 78

## 隠岐の島町図書館

〒685-0014  
島根県隠岐郡隠岐の島町西町吉田の二 17-1  
tel : 08512-2-2341 fax : 08512-2-9198  
http://www.town.okinoshima.shimane.jp/toshokan/  
e-mail : s-tosho@mx.miracle.ne.jp



### ・・・大石芳野 写真展「隠岐の国」開催中・・・

大石芳野さんの写真集『隠岐の国』に使われている、隠岐の懐かしい風物の写真を多数展示しています。  
期間は**10月18日(金)**までとなっておりますので、まだ見られてない方はお急ぎください。

場所 図書館研修室

#### 『隠岐の国』大石芳野／著

くもん出版 1984年7月



1975年から9年間、隠岐の島の人や風景、お祭りなどを撮った写真集です。写真の題材の解説や隠岐の民話・民謡なども挿入され、読むのも楽しい一冊です。

#### 他にも・・・

#### 『それでも笑みを』大石芳野著

清流出版 2011年3月



アフガニスタン、チェルノブイリ、広島、カンボジア、戦争や内乱など厳しい社会情勢や歴史の中で生きる人々。けれどもそこにもさまざまな笑みが…。  
40年にわたり世界35か所を撮り続けた写真集です。

これ以外にも大石芳野さんの本あります。

### ・・・ありがとうございます・・・

利用者の方からお花をいただきました。館内を明るく華やかにしてくれました。ありがとうございます。



・ ・ リンドグレンの世界を堪能 ・ ・

10月22日「スライドで巡る児童文学の旅～リンドグレンの作品と世界」が開催されました。

24名の参加があり、池田正孝先生が現地で撮影した写真を見ながら、楽しいお話を聞かせていただきました。

作品に出てくる家や風景、実際にリンドグレンが住んでいた家、作品のテーマパークなど、たくさんの写真を見ることができ、外国の物語である「ピッピ」などの作品世界が身近に感じられました。



・ ・ おはなし会も ・ ・

また、池田信子さんによるおはなし会もありました。

「マーシャとくま」「かにむかし」などのおはなしを、部屋を暗くした中で語っていただきました。ろうそくの明かりの中で聞くお話は、いつもの絵本の読み聞かせとはまた違った雰囲気でおはなしの世界へ惹きこまれました。



図書館では、読書に関するものやそれ以外にもいろいろなイベントを行っています。「こんなイベントをしてほしい」「この人の話を聞きたい」など、何か要望があればお伝えください。参考にさせていただきます。

ブックトークの会

12月3日(土) おひる2時から  
図書館研修室でおこないます。  
今回紹介する本のテーマは「**てがみ**」です。対象は小学校低・中学年です。お楽しみに！



本の寄贈

8月から10月には、田中明美様、吉田徹様、永海聖子様、安部和子様、野津一弘様、黒坂孝之様、吉岡秀洋様、野津忠宏様、ほか15名の方々に本を寄贈していただきました。  
本当にありがとうございました。

開館日カレンダー

色の日は休館日

11月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

定例行事

- はじめてのえほん  
火曜日 10:30～
- おはなしのへや  
土曜日 15:00～
- ブックトークの会  
11月5日(土)14:00～  
12月3日(土)14:00～

開館時間

10:00～18:00

・ ・ ・ 展示コーナー & 特集コーナー ・ ・ ・

★展示コーナー

《 税に関する子どもの作品展 》

税に関する作品コンクールに応募された、隠岐の小学生の絵はがきや習字作品を展示しています。

期間 11月1日(火)～30日(水)  
場所 隠岐の島町図書館 展示コーナー



★特集コーナー

《 勉強は楽しい 》

子どもの頃いやだった勉強も、大人になってから見てみると意外と楽しいもの。頑張りすぎず、楽しいところだけやってみましょう。



★えほんコーナー

《 いぬ・ねこ物語 》

従順な犬と気まぐれな猫、そんなイメージがあるけど、ほんとにそう？犬と猫の物語を見てみよう。



・ ・ ・ 10月の利用状況報告 ・ ・ ・

	入館者数	貸出人数	貸出冊数	登録者数
23年度	4,947	1,536	7,841	18
22年度	5,998	1,653	8,087	27
比較	▲ 1,051	▲ 117	▲ 246	▲ 9

・ ・ ・ 10月によく読まれた本 ベスト10 ・ ・ ・

- |                     |         |       |
|---------------------|---------|-------|
| 1位 硝子の鳥             | 新堂冬樹    | 角川書店  |
| 1位 緑の毒              | 桐野夏生    | 角川書店  |
| 1位 マスカレード・ホテル       | 東野圭吾    | 集英社   |
| 1位 睡眠の病気            | 内山真     | NHK出版 |
| 1位 日本人なら知っておきたい日本文学 | 蛇蔵・海野凧子 | 幻冬舎   |
| 1位 中野トリップスター        | 新野剛志    | 新潮社   |
| 1位 待ち伏せ街道           | 志水辰夫    | 新潮社   |
| 1位 舟を編む             | 三浦しをん   | 光文社   |
| 1位 くちめい             | 坂東真砂子   | 集英社   |
| 1位 こいわすれ            | 島中恵     | 文芸春秋  |

・ ・ ・ 今月のオススメの一冊 ・ ・ ・

『ハロワ!』 久保寺健彦 著 集英社



今月は大滝が  
紹介します

沢田信は、28歳で民間会社からハローワークへ転職。張り切って仕事を始めますが、求職相談に来る人たちはクセのある人たちばかり。毎日話を聞いてもらいにくる常連たちや、プライドが高くクレームの多い元エリート銀行員、引きこもりの女性などいろいろな人が信を指名します。相談件数・就職件数などの成績という現実と、一人一人求めている仕事と結び付けたいという理想の間で、不器用に頑張る信。その頑張りがかすべ結果につながるわけではなく、相手の予想外の行動に呆然することも。人を相手にする仕事は難しいですが、さわやかでありつつ熱い仕事ぶりが楽しい小説です。